

MDC-70/MDC-70T

Multi Device Controller

VTR 簡易編集機能

取扱説明書

【改定履歴】

	発行日	バージョン	内容
1	2016年7月	S0100_01_57	初版
2			
3			
4			
5			

【目次】

1. はじめに	3
2. 簡易編集機能詳細	3
3. 簡易編集時の注意	6
4. 編集操作	7
5. 編集 TC について	9
6. 編集システム設定	10
7. お問い合わせ	12

1. はじめに

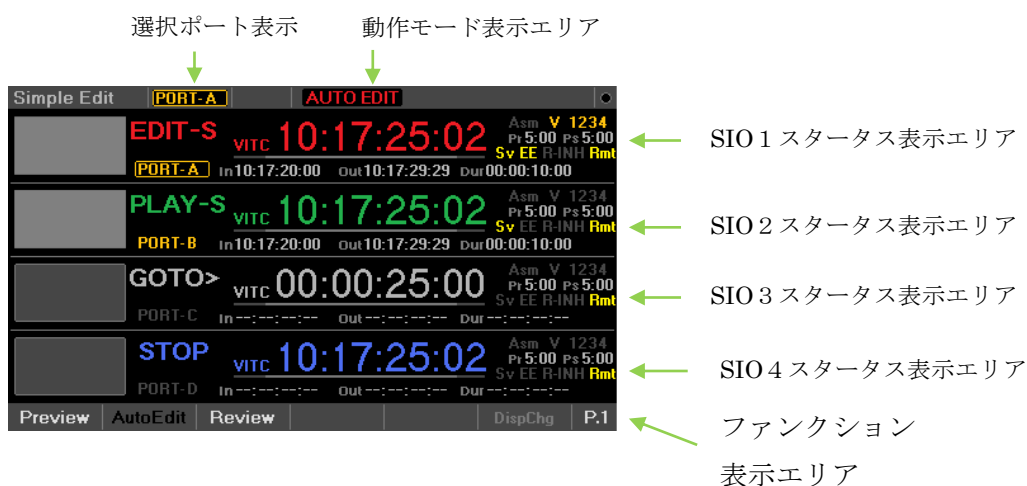
“MDC-70”“MDC-70T”をご使用頂き、誠にありがとうございます。
本製品の簡易編集機能について記載致します。

2. 簡易編集機能詳細

編集モードを使用すると2台のVTRを使用して編集を行うことが可能です。

※編集機能使用時は必ずREFを入力して下さい。

簡易編集は、SimpleEdit 画面で行います。



【ファンクション表示エリア(機能概要)】

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替えます。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	Preview	AutoEdit	Review			DispChg
P.1 +Shift		AutoEdit				Monitor
P.2	Asm	Video	DA1	DA2	DA3	DA4
P.2 Shift						
P.3	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.3 +Shift						
P.4	TC	CTL	CTL-Reset			
P.4 +Shift	TC	CTL				

- 【Preview】 編集のプレビュー動作を行います。
- 【AutoEdit】 SFT+F1 で編集を開始します。
- 【Review】 編集結果を確認します。
- 【Asm/Video/DA1/DA2/DA3/DA4】 編集モードに応じて選択します。
Asm :アッセンブルモードで動作します。
Video/DA1/DA2/DA3/DA4
- 【Preroll-*/Postroll-*】
Preroll-1 (3 秒) / Preroll-2 (5 秒) / Preroll-3 (7 秒)
Postroll-1 (3 秒) / Postroll-2 (5 秒) / Postroll-3(7 秒)
※Preroll 時間はメニューで設定可能です。(編集を行う時は3秒以上確保して下さい)
- 【TC/CTL】 編集タイムコードを選択します。
- 【CTL-Reset】 編集タイムコードが CTL の時、リセットします。

■ステータス表示エリアの説明



- ① 簡易画像表示
※IN1～IN4 にアナログビデオ信号を入力すると表示されます。
- ② VTR ステータス表示部
- ③ VTR TC 表示部
- ④ タイムコード表示部
※VTRの状態により色が変わります。
STOP(青) PLAY(緑) REC(赤) SHUTTLE/VAR(水色)
- ⑤ 編集モードの選択
Asm : アッセンブル選択時“黄”になります。
V/DA1/DA2/DA3/DA4 : インサート選択時“黄”になります。
- ⑥ プリロール・ポルトロール時間の表示
Pr : Preroll 時間を表示します。
Ps : Postroll 時間を表示します。
- ⑦ VTR の状態表示
Sv : VTRがサーボロック状態の時、“黄”になります。
EE : VTRがEE状態の時“黄”になります。
R-Inhi :テープが書き込み禁止状態の時、“赤”になります。(優先)
本装置で書き込み禁止状態の時“青”になります。
Rmt :VTR がリモート制御可能な時“黄”になります。
- ⑧ ポート選択表示
ポート選択ボタンに連動して動作します。動作可能なポートが“黄”表示します。
- ⑨ IN 点タイムコード表示
- ⑩ OUT 点タイムコード表示
- ⑪ デュレーション表示

3. 簡易編集時の注意

1) アッセンブル編集の注意

- ・アッセンブル編集は CTL で行って下さい。
- ・最初の編集を開始する点に、あらかじめ CTL 信号をプリロール時間より長く記録しておいて下さい。
- ・アッセンブル編集をすると、OUT 点で信号が不連続になり画像が乱れる事があります。

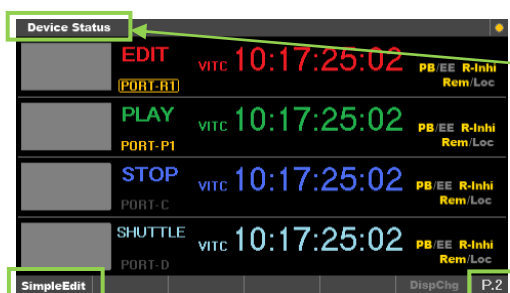
※TC でアッセンブル編集を行ないたい場合は予め連続した TC が記録してある必要があります。VTR の TC 設定を INT/REC RUN/REGEN に設定して下さい。

2) インサート編集の注意

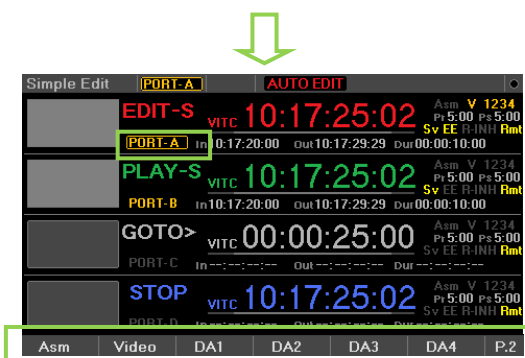
- ・インサート編集する部分には、CTL 信号又は TC 信号が連続して記録されていないと編集が実行出来ません。

4. 編集操作

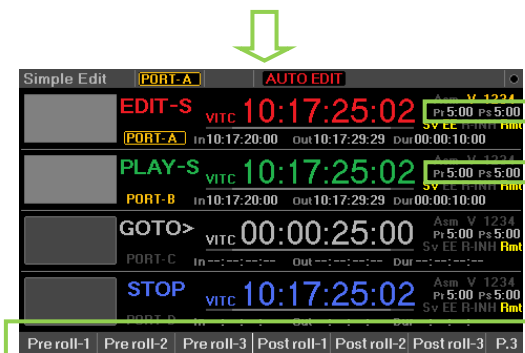
VTR2台での編集操作手順例を記載します。



Device Status 画面のファンクション表示エリアでP2を選択して SimpleEdit モードを選択します。



Recorderポートを選択し、SimpleEdit 画面のファンクション表示エリア P2 で、編集モードを選択します。



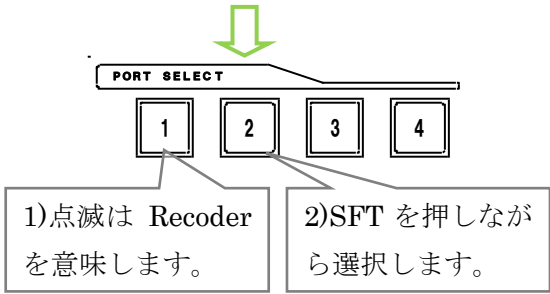
同様にファンクション表示エリア P3 で Preroll/Postroll の設定を行います。
※設定は Recorder ポート・Player ポート同じ設定にしてください。



Port Select キー 1 で RECORDER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。



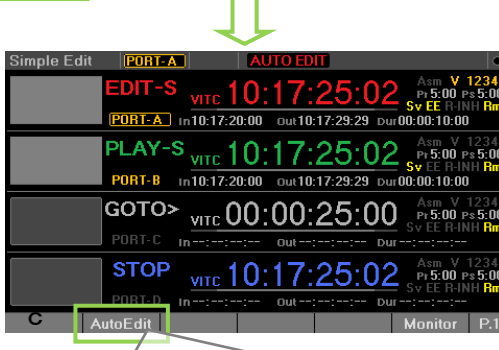
Port Select キー 2 で PLAYER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。



Port1 を選択し、次に SFT+Port2 を選択し、Recoder と Player 2 個を点灯させます。

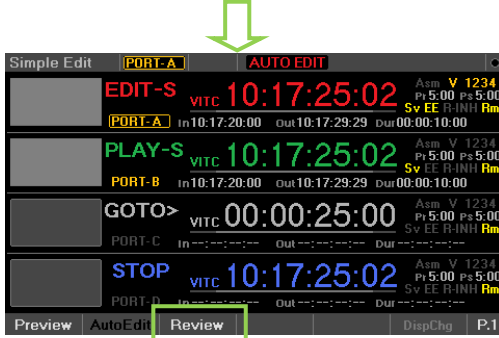


Preview を選択し編集のリハーサルを行います。
※同期制御は自動で行います。
が、VTR の状態によりリトライ動作する事があります。



AutoEdit を選択し編集を行います。

SFT を押しながから選択します。

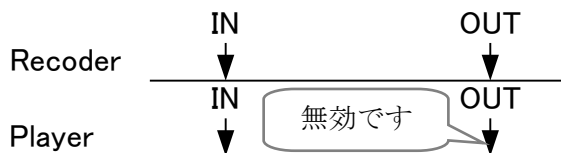


Review を選択し編集の確認を行います。

5. 編集 TC について

簡易編集では、収録側TCと再生側TCは下記の動作となります。

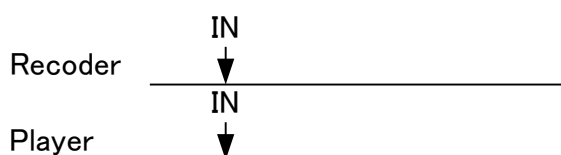
- 1) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点と同じ時



【動作詳細】

Recoder の IN/OUT 点を基準に動作します。

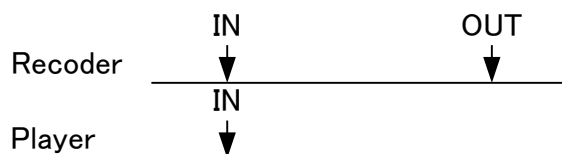
- 2) 収録側IN点と再生側 IN 点 が設定されている時



【動作詳細】

オープンエンドで記録します。

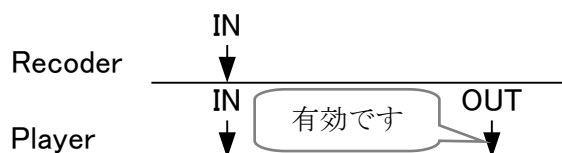
- 3) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN 点 が設定されている時



【動作詳細】

Recoder 側の OUT 点を基準にして編集が行われます。

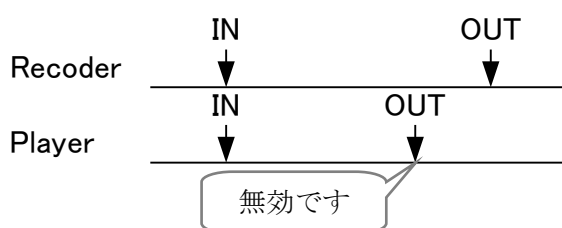
- 4) 収録側IN点と再生側 IN/OUT 点 が設定されている時



【動作詳細】

Player 側 OUT 点を使用して編集が行われます。

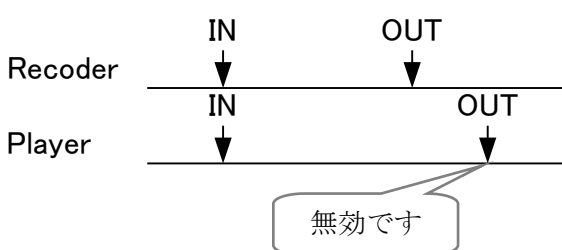
- 5) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点 が設定されている時(収録側が長い)



【動作詳細】

Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

- 6) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点 が設定されている時(再生側が長い)



【動作詳細】

Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

6. 編集システム設定

簡易編集を行うには、対象機器毎にパラメータの変更が必要です。

1) 編集パラメータの設定方法

調整パラメータは MENU の SIO 内で設定を行います。

30E43 V:EditIn-Timing(Def 5frame)

→編集 IN 点の調整を行います。

30E44 V:EditOut-Timing(Def 4frame)

→編集 OUT 点の調整を行います。

30E45 V:EditIn-CtlTiming(Def 0)及び V:EditOut-CtlTiming(Def 0)

→TC 編集と CTL 編集が混在する時に設定を行います。

※Port 1～4切替えて設定を行います。

【Edit タイミングの調整手順】

- 1) TC 編集を行います。
- 2) 編集結果を確認し、IN 点が進んでいる時は V:EditIn-Timing の設定値を小さくします。
- 3) 編集結果を確認し、OUT 点が進んでいる時は V:EditOff-Timing の設定値を小さくします。
- 4) 上記を数回繰り返し、編集結果にずれが無い事を確認して下さい。
- 5) CTL 編集を行います。
- 6) 編集結果を確認して、ずれが発生した場合は2)と3)と同様 V:EditInt-CtlTimingと V:EditOff-CtlTiming を設定して下さい。
※デフォルト値 0 は TC での設定値が反映されます。0 以外の値を入れると CTL は独立したタイミング値で設定されます。

【参考パラメータ】

■HDW-M2000 のパラメータ値(Recorder/Player 共通)

30E43 V:EditIn-Timing(Def 5frame) = 6frame

30E44 V:EditOut-Timing(Def 5frame) = 5frame

30E45 V:EditIn-CtlTiming(Def 0frame) = 0frame

30E46 V:EditOut-CtlTiming(Def 0frame) = 0frame

■DSR-80 のパラメータ値(Recorder/Player 共通)

30E43 V:EditIn-Timing(Def 5frame) = 3frame

30E44 V:EditOut-Timing(Def 5frame) = 2frame

30E45 V:EditIn-CtlTiming(Def 0frame) = 0frame

30E46 V:EditOut-CtlTiming(Def 0frame) = 0frame

2) DF/NDF の設定方法

DF/NDF の設定は MENU の SIO 内で設定を行います。

30203 FrameFormat 1)NTSC-DF(Def) 2)NTSC-NDF 3)PAL

デフォルトでは DF の設定になっています。

システムに合わせてご使用下さい。

※ポート毎に設定が可能ですが混在した編集は行えません。

7. お問い合わせ

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>
